

ほっこり子育てひろばニュース

Vol.5

「ほっこり子育てひろば」は、孤立しがちな保護者が、他の保護者や地域とつながり、互いに課題の解決ができるようなきっかけを提供する「親支援プログラム」です。そのため、専門職がコーディネートを行いますが、あくまでも保護者同士がコミュニケーションをとれる環境づくりが大切です。地域における開催数増加及び質の向上に向けて、各施設から提出していただいた取組内容をニュースで紹介します。

支援者が感じた保護者の成長、生の声、事業実施に当たっての工夫や失敗談など、今後の「ほっこり子育てひろば」の運営に役立ててください。



こどもみらい館 プログラムどおり「親子でいっしょにあそぼう」

平成30年9月3日に実施しました。(参加人数 5名, 対象年齢 1歳~2歳6ヶ月未満)
親と子のふれあいや一緒に遊ぶことの大切さについて、参加者みんなで話し合いました。



おかあさんのおひざで ふれあいあそび



好きな遊びは？



絵本「あっぷっぷ」中川ひろたか:文

*参加して改めて気づいたことは？

- ・いろいろな子どもがいて、いろんな悩みがあると再確認できた。
- ・家事の合間でも、子どもが声をかけてきたら、少しは手を止めて遊ぶ余裕が必要と思いました。
- ・もっとテレビの時間を少なくして、子どもと一緒に遊ぶ時間を増やしたい。
- ・皆さんが毎日育児を頑張られていることが分かりました。私も頑張ります。

『遊びは心の栄養』 子どもにとって遊びは、食事や睡眠と同じように成長に不可欠なもの。子どもたちは遊びでこんな力を身につけています。

- ① 意欲・自発性
- ② 社会性・人間関係
- ③ 自己有能感・達成感
- ④ 思考力・認識力
- ⑤ 情緒の安定

その他にも、遊びによって、想像力、忍耐力、柔軟性、生活能力、体力、運動能力、器用さ、ルールを作ったり守ったりする力など生きるために必要な能力が身につきます。

まさに遊びは『生きる力』そのものなのです。

(『育つ・つながる 子育て支援』 子育て支援者コンピテンシー研究会/編著参照)

『つどいの広場 おひさまルーム』（上京区）

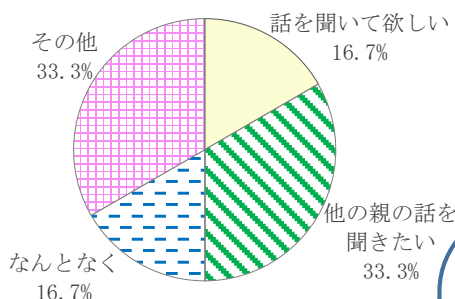
スタッフが毎月2回 島津アリーナ京都 に出向いて『出張つどいの広場』を開催されています。



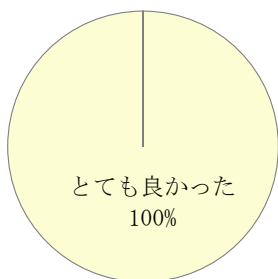
7月12日 自我のめばえと生活習慣（参加人数 6名）	
達成できたこと	自我のめばえの広がりメカニズムを理解してもらい、親子といえど別の視点を持つものだというメッセージは届いた。
達成できなかったこと	客観的にみて、たくさん話をされていた方が話し足りないと感じていたり、控えめだった方が十分と感じていたり配分が難しい。
実施者の評価・反省 今後の課題	ご夫婦で参加してくださったところもあり、絵本を題材にすると想像しやすく話しが弾みました。はじめに、子どもの名前の由来を話し、親の希望を込めた子育てと自我のめばえによる子どもの意思の受けとめ方などを一緒に考え、先輩ママ（2歳児）の体験談を聞いた0歳児の保護者がこれからの成長過程の見通しを持つことができた。 絵本の効果も大きく、パパやママにも分かりやすく伝わったようです。0歳児の保護者と2歳児の保護者の参加者だったので、具体的な悩みより、イヤイヤ期への心構えを話す形になりました。

アンケートより

《参加の理由》



《参加してみて》



*参加して改めて気づいたことは？

- ・自我の広がり話も分かりやすく、自分の中にストンと落ちました。
- ・子育ての先輩の話聞いて、今後の参考になった。有難うございました。
- ・子どもの前で泣いてはいけないと思っていたので、救われました。
- ・自分も同じ悩みをしていたなあと思いました。
- ・読んでいただいた本はどちらも心温まるものでした。他のお母さん方の話も、とても参考になりました。

「出張ひろば」を実施されている職員にインタビューしました

○ 何人で実施されていますか？

→ 三人体制で実施している。三人がいることで、悩みや相談に色々な考え方で対応できる。スタッフ同士の信頼感を大事にしている。

○ 難しいところは？

→ 参加者の年齢層の幅が広いので、進め方や準備は大変である。

○ 大切にされている部分は？

→ しゃべれる雰囲気づくり、寄り添うこと、脱線の話も大事にしている。「ひろば」が終わった後に、心を開きじっくり話をする保護者が多いので、その後の時間を大事にしている。

○ どのように進行されていますか？

→ 「絵本」を介してテーマを展開することで、参加者は話しやすくなるので毎回、絵本選びは大切にしている。

*実施後の反省会で忌憚のない意見を出し合い、次の会に活かしている。

◇◇◇ 実施施設の取組事例 ◇◇◇



赤ちゃんサロン

テーマ 『離乳食』

達成できたこと	悩んでいる親が、他の母の意見で少し安心できた。
実施者の 評価・反省 今後の課題	赤ちゃんサロンで、離乳食の悩みに対して、上の子どもがいる母親が経験を通して、食べなかったことや、海外転勤で国の文化の違いでの戸惑いなど話が出て、親同士を繋げ、悩んでいる母にアドバイスをしてくれる場になった。ニーズに応じて短時間でもほっこり子育てひろばを実施するように工夫する。

1歳児教室

テーマ 『親子でいっしょにあそぼう』



達成できたこと	子育ての悩みを共有することができた。
実施者の 評価・反省 今後の課題	参加者が悩んでいることはそれぞれ違っていたが、悩んでいたのは自分だけではなかったと安心される方もおられた。子育て講座など紹介し、悩みの解消にも繋げていきたいと思う。

クラス懇談会

テーマ 『自我のめばえと生活習慣』

達成できたこと	子育てについて交流ができた。
実施者の 評価・反省 今後の課題	アイスブレイクとして、子どもたちが日頃遊んでいる、ジャンケン列車の遊びをしたことで、交流が和やかな雰囲気になった。 「早ね・早起きの大切さ」「食事の大切さ」「親子のふれあいの大切さ」を感じてもらえるように保護者同士グループで話し合ってもらい、それぞれに意見を出し合いながら保育士も重要なところを伝え、全員で内容理解を深めていった。今まで取り入れたことのない形式の交流であったが保護者からは好評であった。保育士も保護者の考えや意見を知る良い機会になった。

クラス懇談会

テーマ 『いっくしむ』



達成できたこと	保護者同士の交流
実施者の 評価・反省 今後の課題	自己紹介の中に、子どものかわいい姿や悩んでいることを盛り込んでもらった。「イヤイヤ期が出てきてやんちゃになってきている」「きょうだいケンカが激しい」が出て、きょうだいのいる家庭は「うちもそう」と共感されていた。初めての保育所生活の保護者もおられたが、いろいろな話が出ることで、ほっこり安心される姿が見られた。今後も、保護者同士の交流や意見交換ができる場を設ける必要性を感じた。

お昼のつどいママトーク

テーマ 『子どもとのかかわり方』

達成できたこと	参加者同士の子育てについての悩みを話し合い、共感すると共に、交流を深めることができた。
実施者の 評価・反省 今後の課題	同じ年頃の子どもの持つママ達が集まったので、同じ悩みを共有したり、お互いに意見交換もでき、有意義な時間を持つことができたと思う。施設に初めて来られた方が「久しぶりに大人同士で話げできた」と喜んでおられた。ママ友だちを作る機会になればと願う。



誕生会後の懇談会

テーマ『受けとめる』

達成できたこと	赤ちゃん返りや甘える子どもの姿を受け止めて、心の安定を図ることが大切であることが話し合えた。
実施者の 評価・反省 今後の課題	兄弟姉妹の何番目かで甘え上手であったりそうでなかったり、赤ちゃん返りがあったり子育てには親が大変と思う時期がある。その姿を長い目でみて、できるだけ余裕をもって受けとめてあげられるといいが、保護者にもゆとりがなくその気持ちを共感共有することが大切であると感じた。転園後、子どもが思い切り遊ぶようになり、爪を噛むのも減った。また、早く寝るようになり、保育内容にも話題が広がった。



ほっこりタイム

テーマ『認める』

達成できたこと	異年齢児の子どもを持つ親が自分の子育てを振り返り、共有したり、一緒に考えたり、助言したりする場になった。
実施者の 評価・反省 今後の課題	いつもなかなか話ができない保護者が積極的に参加し、他の保護者に子育てについてのアドバイスをし、保護者の意外な面が発見できた。 「日々の生活で自分の子育てを振り返る時間がないが、他の人の話を聞けるのはもちろんだが、自分を見つめ直せる良い時間になった」「久しぶりに子育ての話し合いをすることができてよい時間できた。ほっこりできました」「他のお母さんの話がとても参考になった。いろいろな話が聞けて楽しかった」と感想があり、子どもの良いところ、気になるところなどじっくり見つめ直す様子が見られた。



Information

こどもみらい館は、ほっこり子育てひろばの妊娠期・乳幼児期の事務局を担っています。
ほっこり子育てひろばの運営や報告書の記載方法等、分からないことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

「ほっこり子育てひろば」の見学も受け付けています。

また、複数の施設が合同で実施するなど、ご要望があれば必要に応じておうかがいすることも出来ます。
お気軽にお問い合わせください。 こどもみらい館 事業課（事業担当）TEL 254-5001

平成30年度こどもみらい館実施事業

- 30年11月8日（木）『い つ く し む』・・・3ヶ月～3歳まで
- 31年1月28日（月）『離 乳 食』・・・5ヶ月～1歳まで
- 2月21日（木）『自我のめばえと生活習慣』・・・1歳～2歳6ヶ月まで

是非見学に
お越しください

平成30年10月発行



京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883
中京区間之町通竹屋町下る楠町 601 番地の 1
Tel (075) 254-5001 Fax (075) 212-9909
URL <http://www.kodomomirai.or.jp>